

100人のアイドル

アイドルキャラクターのイラスト集

マイクrobiキニメイメージビテオがテーマのイラスト集

秘
殺
埋
け
びんたつたぬきだん

R-18

エミリア「じゃーんー今日のドレスコートはこのマイクロビキニだそうです。」

エミリア「ケイト様もよくお似合いですー！」

ケイト「似合う？この恰好が？？」

エミリア「あなた洗脳されてない？」

ケイト「この屋敷のホストはマトロソとか言ったわね。見識を疑うわ……。」

……はっ……

ケイト「(でもよくよく考えてみるとこの衣装

私たちが子供の体の線、特に未成熟な胸や骨盤を観察するのに最適かも……。)

派手に動けば乳房や割れ目もあらわになるし子供たちの無邪気な立ち振る舞いをじっくりたっぷり鑑賞するのも使える……。」

ケイト「ケイト分かつちやったー！

これは試験ね！

誰を子役としてデビューさせるかの試験！私たちが試されてるのよー！」

ケイト「おそろしく次に出てくるのは丸い大きなボールや

甘い棒状のお菓子！

それを使う私たち子供の仕草で品定めして純真さを、夏の少女で……

ニーハイにして初写するつもりだわ！！

イヤラシい……実にイヤラシいわ！！

ホストは重度なロリコンに違い無いわ！！

病気よ！精神病よ！！

早く救護班を呼んでちょうだい！！

水を大量に飲ませてススを吐き出させなくては！！」

エミリア「ケイト様、とっても楽しそうですねー！」

ケイト「しまった……洗脳されてるのは実はケイトの方??」





ミカシ「桃はちっちゃな時、ジュニアアイドルやってたのよ。」
シャミ子「アイドル??桃が!？」

ミカシさん詳しく!!(ブンブン)

ミカシ「アイドルと言ってもジュニアアイドルね。」

ミカシ「ちなみにジュニアアイドルって言うのは

布面積の少ないほぼヒモみたいな水着姿で

バランスボールに乗ったり

アイスをひよつとこ顔で舐めたり

電マでくすぐられたりする仕事よ。」

シャミ子「なんとという過酷なお仕事！」

子供にやらせちゃダメなヤツです！」

ミカシ「デビュー作のDVD『ごももの課外授業』は最高だったわ。

見るからに素人な桃が、

プレザー&ランドセルで鉄棒で逆上がり。

チラッと見える白い布は明らかに水着なんだけど

ちよつとゆるめでとてもエロい!!

時折見える隙間から大陰唇!!

シャミ子「だ、大陰唇は・・・性器じゃないのでセーフです!!」

ミカシ「ふふっ、解ってるじゃないシャミ子。」

ミカシ「からのもたつく手つきでプレザーを脱ぎ始める桃!

もうなにかしらあの、下は水着と分かっているも

興奮してしまう脱衣シーン！」

ミカシ「そしてボタン外しが面倒になって

無理矢理脱いたら水着のヒモがひっかかって

ピンク色のポッチがあああああ!!」

シャミ子「B地区!幻のエリアB地区!!」

ミカシ「この時のメーカーのアナウンスが凄かったわ。

あれ?これ虫刺され?虫刺されよね?

虫刺されと言い張る??からの

やっぱ乳首だった!円盤回収騒ぎ!!

はああ、初回版は二生物の宝ね!、はああ・・・

わたし、あそこで何度も抜いたわ。」

シャミ子「ミカシさん興奮しすぎです!!(ピンピン)」

ミカシ「そういうシャミ子も尻尾フル勃起じゃなくて?」

シャミ子「バレますか!?バレちゃいますか!？」

ミカシ「ふふふ、シャミ子なら分かってくれると思ってたわ!

ああもう抜きたくなくなってきたわ!

シャミ子が悪いのよ!」

シャミ子「わたし魔族ですから!!

悪い子で良いので見せてください!」

ミカシ「付いてきなさい!」

デビュー作から10作目までマラソンよ!

今夜は寝かさないわ!!」

まりん「じゃーじゅじゅサマのマイクログルキニー！
ヤバーカワー・ロリー・ジポーんぽっー！
トめ☆♡あーじゅじゅ！ EあPおPLOー！」

五条「喜多川さん！乳首！乳首立ってますよ!!!」

まりん「むりっしょー！こんなん見たら！

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡見てるだけでウ
イッチャウウウウウウ♡」

五条「ストップ！ストップ喜多川さん!!

ドクターストップ!!!」

まりん「ちょっとまって！

10秒！いや3秒でイクから！」

……………(1)んっ(2)んっ(3)んっ♡♡……………

まりん「はいイッた！もう大丈夫！賢者タイムね!!!」

五条「行動力……」

もう、手ベッタベタですよ。

はい、ウエッティ。」

まりん「いやーヤバいわー」

あたしね、JKくらいのタッパの中
やたら小っちゃい子見かけるとテンション爆上げ
過呼吸でハアハアしちゃうのよね。」

五条「あー、ちょっと分かります。

制服に着られてる感じ、可愛いですよね。
小学校二年生の入学式みたいな。」

まりん「でもちよーっと冷静に考えると、あの子あんな小さくても

あの歳なら大概の子って下の毛ボーボーなよね。

ちよーっと声かけて、カラオケボックスで脱がしてみたら

産まれてから二度も手入れしてない？

夏場の庭の伸び放題雑草？

ワッサワッサ???みたいなの！」

五条「そんな、二度も男性とお付き合いましたこと無い子だったら
普通の事ですよ。」

まりん「でもジユジユサマは天然のパイパン!!

パイ・パン♡」

五条「そんなセーラー服と機関銃の決め台詞みたいに言わなくても。

そこそんなに大事ですか?」

まりん「五条くんわかってないわ。

いい?陰毛って結構ぶっ太くて必然的に毛穴も大きくなるのね。

そのせいで気をつけないと肌のきめ細やかさを損なうの。」

五条「喜多川さんはそれで脱毛サロン通ってるんですよ。」

まりん「わたし真面目な話ししてるんですけど。

話しそらさないでいただけます?」

五条「は、はい……すみません……」

(地雷踏んでしまった)」

まりん「しよれが天然パイパンだからやもう

8Kジュームで撮影して永久ほぞんしたいひいの
おはあああもおおおむりいひいひい♡」

五条「あ、いつもの喜多川さんだ。」





千束「たきな〜一緒DVD観よう」
たきな「『クルミちゃん10歳』…なんですかこれ？」

千束「AV」

たきな「私たち未成年ですよー」

千束「だいたいよぶだいたいよぶ」

バシなきやどーって事ないって。」

たきな「うあ、なんか紫色の棒、舐めてますよ…。」

千束「あれね、カバー付いてるけど中身本物。」

たきな「なんの本物ですか!？」

千束「なにっってチンポよチンポ。

人体の急所の1つ。

血液が集まるめっちゃ危ない所。

習わなかったの?」

たきな「習いましたけど…うあ

なんかマッサージしてる手、店長っほくないですか?」

千束「あー、っほいほい。

めっちゃ男の手。

こう言うの女性の手だと萎えるのよね。

土壇場で女優さんが嫌がったので

ママがやりました!みたいな!みたいな!

たきな「同意求めないでくださいよくわかりません。」

千束「本番はじまった!」

たきな「これ知ってます…。机の上でさみさみしてすよね…。
気持ち良さそう…。」

千束「違う違う机上じゃなくて騎乗位ね。

暴れ馬にまたがって落ちないよう」

振動に合わせて、こう腰をへいへい動かす感じの。」

たきな「へ、勉強になります、先輩。」

千束「うっひよー!たきな見てみて!

あそこ、ガラスのコップの映り込み!」

たきな「え…メガネかけた黒い…

店長!？」

千束「ガチ本番キタコレ!!

やってる!やっちゃってる!

本当にずっほり入っちゃってるよこれ!!」

たきな「え、これってAVですよね?」

千束「んにゃN。イメージビデオ!

それっほく作られてるけど、本番はしてない体のヤツ」

たきな「意味が分かりません!」

千束「たまにこう言うのがあるんだよねー

だからイメージビデオってめっちゃ興奮する!!」

たきな「楽しみ方がマニアックすぎます!」

千束「まあクルミちゃん幼女声だけど似非回りだからなー。
やってるかも、ってちよつと予想はしてた。」

たきな「これからは師匠と呼びさせてくださいー!」

千束「うむ。くるしめいなこー!」

前世の男「見せて貰おうか。」

マイクロビ「キニ姿のロキシィの性能とやらを。」

ルデイ「突然何を言ってるんだ前世の僕」

前世の男「いやさ、ポスレンとかで集めてた

ソニアアアイドルDVDに出演してた小学生達が

wikiで名前検索するじみんな30歳近くじゃ。」

ルデイ「こっわっ！時の流れこっわっ！」

前世の男「まあ俺の中では第二次ジュニアアイドル黄金期作品

として今でもお世話になってるわけだが。」

ルデイ「第二次？じゃ二次はどんな？」

前世の男「そりゃーおまえもちらん西村の香とか

フレッシュなプチトマトがそよ風しちゃうみたいなの、あの辺。」

ルデイ「うああああダメですダメですよそっういのロに出しちゃ!!!」

前世の男「でもさ俺的にはおいも屋全盛期も大好きなんよ。

女の子達もほとんどレベル上がって、

それまでクラスで2番目くらい的美少女モデルが

学年トップクラス集めてきましたみたいな。」

ルデイ「わかる。なんか次元2つ3つ越えたよね。

それが第三次黄金期な感じですか。」

前世の男「うむ。世の中色々厳しくなって、

日本人特有の制約があるとかえって力発揮しちゃうみたいなの。

工夫が光る。そして画質がヤバい。からのBlur-ray。」

ルデイ「あーBlur-rayヤバいわね。すりむいた膝小僧とか、

高校あたりからちよっとお尻が汚くなって行くこととか。

見えちゃいけないところまで

見えちゃってる感じがガチでヤバい。」

前世の男「ピキニの中の陰毛の形とかかな。」

ルデイ「ちよちよちよちよw」

前世の男「まあ画面の比率も変わったし、

音質もBGMもヤバい進化してる。」

ルデイ「プレステ2から4に買い換えた時みたいなの。」

前世の男「確かに3飛ばしちゃった。つてくらい進化したね。」

前世の男「でもそのおいも屋の頃からお世話になってる女の子達

で調べたら大体二十歳超えて25とかあった。」

ルデイ「そりゃまあね、リアルワールドは時間が過ぎますから。

だからこそ尊いわけで。」

前世の男「美しい物が嫌いな人がいて？」

ルデイ「うお、やっと思頭のガンダムネタに戻った。」

前世の男「それが年老いて死んで行くのを見るのは

悲しい事ではなくて？」

ルデイ「まーまーまーまー」

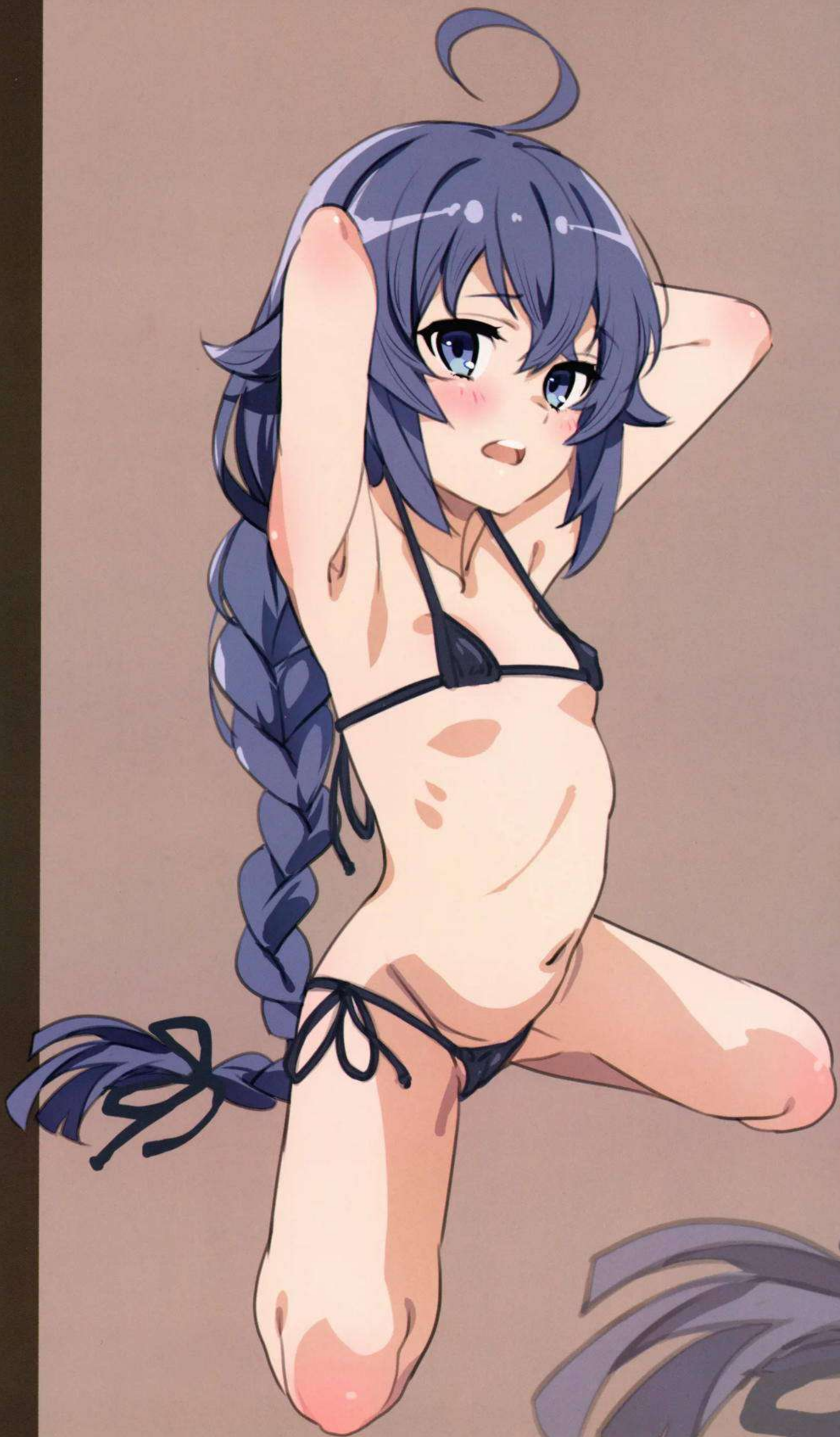
前世の男「でも、10年経っても、ロキシィなら？」

ルデイ「20年経っても師匠なら？」

前世の男「ルデイ

「いつまで経っても幼いまんま！」

ロキシィ「最高ふうー！！！！！！」





抱き枕イラストA面









サイキョーにかわいい乃愛ちゃんのVパッケージ風イラスト。



乃愛の
タンクタンクハ
よじゅん♡

一回5回で
5球
投げられるわよ♡

ドボンッ
♡

ゴポッ
ゴポッ

ザパッ

あれれ？
あたらないぞー？

もしかして
サイキョーに
可愛いあたしに
目がくらんじゃってる？

あーあ
当たっちゃったね

全部外れたら
残念賞
あげたのにー

え？
もつかいする？
じゃ次は千円ね♡

ガッ

※タンクタンクって遊びがあるんすよ。興味ある人は調べてみてね。





タイトル：「マドロスギャラリーⅡ」

発行日：2022年8月14日

発行者：佐伯達也

メール：saeki@usagidan.com

Twitter：tomita1988

印刷所：イロドリ様

最近描いたもの以外にskebや
抱き枕のイラストを掲載しました。
読んでくださった方々ありがとうございました。

